

VI-1-2. 偏相関分析

VI-1-2-1. 偏相関分析とは何か

多重共線性は重回帰分析の結果の解釈を複雑化します。多重共線性には二つのタイプがあります。一つは同じような説明変数が重なり合っている場合です。もう一つが偽相関です。相対化せずに身長と座高を説明変数に加えると、似たような変数が説明変数に選ばれたこととなります。これは第一のタイプです。座高は身長の一部だからです。これに対して、身長と体重が足の速さに相関を持つのは、どちらも体の大きさに関係しているからで、体の大きさに引っ張られて、相関が生まれているのです。事実、私たちの経験では、太った人で足の速い人は少ないと思います。これは偽相関です。特に、小さな子供から大人まで入れて分析すると、こういうことが起きます。もし、身長が同じ人の集団から抽出して、走力の実験を行えば、体重と足の速さは逆相関するでしょう。多重共線性は、変数が重なっている場合にも偽相関の場合にも起こります。そして、偽相関の程度によって、多種共線性に対する対応が違います。もし、変数の重なり合いだけが問題ならば、多重共線性のある変数の中から代表するものを選べばよいだけです。しかし、偽相関の場合、一つの変数を放り出すと新しい発見の機会を失います。そこに重要な逆相関が隠れている可能性があるからです。一般的に言って、自然科学の分野で偽相関を見つけ出すことは難しいことではありません。原因と結果の因果関係が単純で分かりやすく、逆相関も見つけやすいのです。しかし、社会科学や心理学の分野では原因結果の関係が複雑でそのつながりが長いので、簡単に見つからないことがあります。ですから、偽相関を統計的に見つけ出す方法が必要なのです。偏相関分析は偽相関を見つ找出す方法です。

VI-1-2-2. 何故偽相関が出来るのか

実世界は関係性の網の目のようになっています。実際の偽相関はもっと複雑ですが、もっとも単純な偽相関の仕組みは、3変数の関係で、図 65 のように表せます。ベクトル \overrightarrow{OW} と \overrightarrow{OF} が W-O-F 平面上にあります。ベクトル \overrightarrow{OM} はそれに直交しています。この状態ではベクトル \overrightarrow{OW} とベクトル \overrightarrow{OF} がなす角度は θ です。ここでベクトル \overrightarrow{OW} とベクトル \overrightarrow{OF} をベクトル \overrightarrow{OM} に向けて M-W-O 平面、M-F-O 平面内で倒します。その結果ベクトル $\overrightarrow{OW'}$ とベクトル $\overrightarrow{OF'}$ が出来ます。ベクトル $\overrightarrow{OW'}$ とベクトル $\overrightarrow{OF'}$ のなす角度は θ' となりますが、 θ' が θ よりも小さくなることは明らかでしょう。

$$r_{WF} = \cos \theta$$

$$r_{W'F'} = \cos \theta'$$

$$\theta > \theta'$$

$$\cos \theta < \cos \theta'$$

$$-1 \leq r_{WF} < r_{W'F'} \leq 1$$

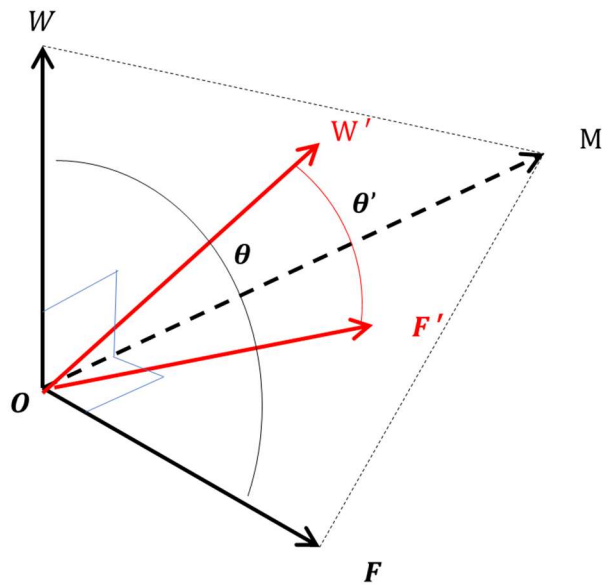


図 66. 偽相関の幾何学的関係

N次元空間で考えます。それぞれのベクトルは次の通りです。

$$\mathbf{M} = \begin{pmatrix} m_1 \\ \vdots \\ m_n \end{pmatrix}, \quad \mathbf{W} = \begin{pmatrix} w_1 \\ \vdots \\ w_n \end{pmatrix}, \quad \mathbf{F} = \begin{pmatrix} f_1 \\ \vdots \\ f_n \end{pmatrix},$$

\mathbf{M} と \mathbf{W} 、 \mathbf{F} に相関があると仮定すると \mathbf{W} 、 \mathbf{F} から予測した \mathbf{M} の値は次の通りです。

$$\hat{m}_i = a_1 w_i + a_2 f_i$$

$$m_i = \hat{m}_i + e_i$$

$\hat{\mathbf{M}}$ は以下のように \mathbf{W} と \mathbf{F} の線形結合で表せます。

$$\hat{\mathbf{M}} = a_1 \mathbf{W} + a_2 \mathbf{F}$$

$$\mathbf{M} = \hat{\mathbf{M}} + \mathbf{E} = a_1 \mathbf{W} + a_2 \mathbf{F} + \mathbf{E}$$

次のように具象的な例を当てはめてみます

\mathbf{M} : 身長のような体の大きさに関するデータ (平均値からの差として表現)

\mathbf{W} : 体重. (平均値からの差として表現)

\mathbf{F} : 足の速さ (平均値からの差として表現)

もしデータを戦闘が同じ人から得ていれば、 \mathbf{M} でデータは \mathbf{W} - \mathbf{O} - \mathbf{F} 平面上に存在します。したがって、 \mathbf{W} と \mathbf{F} の相関係数は $r_{WF} = \cos \theta$ です。しかし、身長をコントロールしていない集団からデータを採ると、様々な身長の人が居るので、 $\mathbf{M} \neq 0$ 。 \mathbf{W} と \mathbf{F} のベクトルの矢印の頭は \mathbf{W}' と \mathbf{F}' に移動します。 $\hat{\mathbf{M}}$ は \mathbf{W}' と \mathbf{F} の線形結合で $\hat{\mathbf{M}}$ は \mathbf{W}' - \mathbf{O} - \mathbf{F}' plane 平面上に存在します。

図 66 に示したように $\theta > \theta'$ だから

$$\cos \theta < \cos \theta'$$

$$-1 \leq r_{WF} < r_{WIFt} \leq 1$$

これが、偽相関ができる仕組みです。

VI-1-2-3. 偏相関分析のやり方

初めに3変数だけ考えます。

$$\mathbf{x} = (x_1, \dots, x_n)$$

$$\mathbf{y} = (y_1, \dots, y_n)$$

$$\mathbf{z} = (z_1, \dots, z_n)$$

$$x_i = d_{xi} - \bar{d}_x$$

$$y_i = d_{yi} - \bar{d}_y$$

$$z_i = d_{zi} - \bar{d}_z$$

d_{xi} : 変数 x の i 番目のデータ、 \bar{d}_x : 変数 x の平均 $\bar{d}_x = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n d_{xi}$

d_{yi} : 変数 y の i 番目のデータ、 \bar{d}_y : 変数 y の平均 $\bar{d}_y = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n d_{yi}$

d_{zi} : 変数 z の i 番目のデータ、 \bar{d}_z : 変数 z の平均 $\bar{d}_z = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n d_{zi}$

分散・共分散行列を作ります。

$$S = \begin{pmatrix} \sum_{i=1}^n x_i^2 & \sum_{i=1}^n x_i y_i & \sum_{i=1}^n x_i z_i \\ \sum_{i=1}^n y_i x_i & \sum_{i=1}^n y_i^2 & \sum_{i=1}^n y_i z_i \\ \sum_{i=1}^n z_i x_i & \sum_{i=1}^n z_i y_i & \sum_{i=1}^n z_i^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} SS_{xx} & SS_{xy} & SS_{xz} \\ SS_{yx} & SS_{yy} & SS_{yz} \\ SS_{zx} & SS_{zy} & SS_{zz} \end{pmatrix}$$

$$R = \begin{pmatrix} \frac{SS_{xx}}{\sqrt{SS_{xx}\sqrt{SS_{xx}}} & \frac{SS_{xy}}{\sqrt{SS_{xx}\sqrt{SS_{yy}}} & \frac{SS_{xz}}{\sqrt{SS_{xx}\sqrt{SS_{zz}}} \\ \frac{SS_{yx}}{\sqrt{SS_{yy}\sqrt{SS_{xx}}} & \frac{SS_{yy}}{\sqrt{SS_{yy}\sqrt{SS_{yy}}} & \frac{SS_{yz}}{\sqrt{SS_{yy}\sqrt{SS_{zz}}} \\ \frac{SS_{zx}}{\sqrt{SS_{zz}\sqrt{SS_{xx}}} & \frac{SS_{zy}}{\sqrt{SS_{zz}\sqrt{SS_{yy}}} & \frac{SS_{zz}}{\sqrt{SS_{zz}\sqrt{SS_{zz}}} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xz} \\ r_{yx} & 1 & r_{yz} \\ r_{zx} & r_{zy} & 1 \end{pmatrix}$$

$$|R| = 1 + 2 \frac{SS_{xy}SS_{yz}SS_{zx}}{SS_{xx}SS_{yy}SS_{zz}} - \frac{SS_{yy}SS_{zx}^2 + SS_{zz}SS_{xy}^2 + SS_{xx}SS_{yz}^2}{SS_{xx}SS_{yy}SS_{zz}}$$

$$= \frac{SS_{xx}SS_{yy}SS_{zz} + 2SS_{xy}SS_{yz}SS_{zx} - SS_{yy}SS_{zx}^2 - SS_{zz}SS_{xy}^2 - SS_{xx}SS_{yz}^2}{SS_{xx}SS_{yy}SS_{zz}}$$

$$\begin{aligned}
\mathbf{R}^{-1} &= \frac{1}{|\mathbf{R}|} \tilde{\mathbf{R}} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{pmatrix} 1 - r_{yz}^2 & r_{yz}r_{zx} - r_{xy} & r_{xy}r_{yz} - r_{zx} \\ r_{yz}r_{zx} - r_{xy} & 1 - r_{zx}^2 & r_{xy}r_{zx} - r_{yz} \\ r_{xy}r_{yz} - r_{zx} & r_{xy}r_{zx} - r_{yz} & 1 - r_{xy}^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} r^{xx} & r^{xy} & r^{xz} \\ r^{yx} & r^{yy} & r^{yz} \\ r^{zx} & r^{zy} & r^{zz} \end{pmatrix} \\
&= \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{pmatrix} 1 - \frac{SS_{yz}^2}{SS_{yy}SS_{zz}} & \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} \\ \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & 1 - \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}SS_{xx}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} \\ \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} & 1 - \frac{SS_{xy}^2}{SS_{xx}SS_{yy}} \end{pmatrix} \\
&= \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{pmatrix} \frac{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}{SS_{yy}SS_{zz}} & \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} \\ \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & \frac{SS_{zz}SS_{xx} - SS_{zx}^2}{SS_{zz}SS_{xx}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} \\ \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} & \frac{SS_{xx}SS_{yy} - SS_{xy}^2}{SS_{xx}SS_{yy}} \end{pmatrix}
\end{aligned}$$

単回帰とはある変数を別のある変数で説明することです。単回帰の解は次の式で与えられます。

$$x = \alpha_{x/z}z + e = \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z + e$$

$$y = \alpha_{y/z}z + e = \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z + e$$

$$\alpha_{x/z}: x \text{ を } z \text{ で回帰した } z \text{ の回帰係数、 } \alpha_{x/z} = \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}$$

$$\alpha_{x/y}: y \text{ を } z \text{ で回帰した } z \text{ の回帰係数、 } \alpha_{x/z} = \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}$$

変数が4つ以上の場合、 $(x_1 \cdots x_p), p \geq 4$

$$x_1 = \alpha_{x_1/x_3}x_3 + \cdots + \alpha_{x_1/x_p}x_p + e$$

$$x_2 = \alpha_{x_2/x_3}x_3 + \cdots + \alpha_{x_2/x_p}x_p + e$$

⋮

これらの式では、 e は x_1 と x_2 以外の変数で説明できない残差です。別の考え方をすると、 e は他の変数から独立した目的変数の一部です。目的変数は左辺の x, y, x_1, x_2 で。この部分は x, y, x_1 と x_2 だけにかかわっています。この独立した部分 \check{x} のように表すことにします。
 $p = 3$ の例ならば、

$$\check{x} = e = x - \alpha_{x/z}z = x - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z$$

$$\check{y} = e = y - \alpha_{y/z}z = y - \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z$$

$p \geq 4$ の例ならば

$$\check{x}_1 = x_1 - \left(\alpha_{x_1/x_3}x_3 + \cdots + \alpha_{x_1/x_p}x_p \right) = x_1 - \left(\frac{SS_{13}}{SS_{33}}x_3 + \cdots + \frac{SS_{1p}}{SS_{pp}}x_p \right)$$

$$\check{x}_2 = x_2 - \left(\alpha_{x_2/x_3}x_3 + \cdots + \alpha_{x_2/x_p}x_p \right) = x_2 - \left(\frac{SS_{23}}{SS_{33}}x_3 + \cdots + \frac{SS_{2p}}{SS_{pp}}x_p \right)$$

です。 $p = 3$ の例から考えます。

$$\check{x} = x - \alpha_{x/z}z = x - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z$$

$$\check{y} = y - \alpha_{y/z}z = y - \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z$$

$\alpha_{x/z}: x$ を z で回帰した z の回帰係数

$\alpha_{y/z}: y$ を z で回帰した z の回帰係数、

ここで、 x と y の偏回帰係数を $r_{xy|rest}$ と表すことにします。変回帰係数とは、他の変数の影響を取り除いた二つの変数の関係という意味です。ですから、 x 、 y と z の場合には

$$r_{xy|rest} = r_{xy|z}$$

と書けます。

これは \check{x} と \check{y} の相関です。

$$r_{xy|z} = r_{\check{x}\check{y}} = \frac{SS_{\check{x}\check{y}}}{\sqrt{SS_{\check{x}\check{x}}} \sqrt{SS_{\check{y}\check{y}}}}$$

ですから、次のように共分散と分散を求めます。

$$SS_{\check{x}\check{y}} = \sum_{k=1}^n \left(x_k - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z_k \right) \left(y_k - \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z_k \right)$$

$$SS_{\check{x}\check{x}} = \sum_{k=1}^n \left(x_k - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z_k \right)^2$$

$$SS_{\check{y}\check{y}} = \sum_{k=1}^n \left(y_k - \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z_k \right)^2$$

実際の計算は次の通りです。

$$SS_{\check{x}\check{y}} = \sum_{k=1}^n \left(x_k - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}}z_k \right) \left(y_k - \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}}z_k \right)$$

$$= \sum_{k=1}^n x_k y_k - \sum_{k=1}^n \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}} y_k z_k - \sum_{k=1}^n \frac{SS_{yz}}{SS_{zz}} x_k z_k + \sum_{k=1}^n \frac{SS_{zx}SS_{yz}}{SS_{zz}^2} z_k^2$$

$$= SS_{xy} + \frac{SS_{zx}SS_{yz}}{SS_{zz}} - \frac{SS_{zx}SS_{yz}}{SS_{zz}} - \frac{SS_{zx}SS_{yz}}{SS_{zz}}$$

$$\begin{aligned}
&= SS_{xy} - \frac{SS_{xz}SS_{yz}}{SS_{zz}} \\
SS_{\tilde{x}\tilde{x}} &= \sum_{k=1}^n \left(x_k - \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}} z_k \right)^2 \\
&= \sum_{k=1}^n x_k^2 - 2 \sum_{k=1}^n \frac{SS_{zx}}{SS_{zz}} z_k x_k + \sum_{k=1}^n \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}^2} z_k^2 \\
&= SS_{xx} - 2 \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}} + \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}} \\
&= SS_{xx} - \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}}
\end{aligned}$$

同様に

$$SS_{\tilde{y}\tilde{y}} = SS_{yy} - \frac{SS_{yz}^2}{SS_{zz}}$$

したがって、偏相関は次の通りです。

$$\begin{aligned}
r_{xy|z} = r_{\tilde{x}\tilde{y}} &= \frac{SS_{xy} - \frac{SS_{xz}SS_{yz}}{SS_{zz}}}{\sqrt{SS_{xx} - \frac{SS_{zx}^2}{SS_{zz}}} \sqrt{SS_{yy} - \frac{SS_{yz}^2}{SS_{zz}}}} \\
&= \frac{SS_{xy}SS_{zz} - SS_{xz}SS_{yz}}{\sqrt{SS_{xx}SS_{zz} - SS_{zx}^2} \sqrt{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}}
\end{aligned}$$

これは3変数の場合です。この式は私たちが作った記法を使えばもっと簡単に書けます。

まず、相関行列の逆行列を作ります。

$$\begin{aligned}
\mathbf{R}^{-1} &= \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{pmatrix} \frac{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}{SS_{yy}SS_{zz}} & \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} \\ \frac{SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{xx}}SS_{zz}} & \frac{SS_{zz}SS_{xx} - SS_{zx}^2}{SS_{zz}SS_{xx}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} \\ \frac{SS_{xy}SS_{yz} - SS_{xz}SS_{yy}}{\sqrt{SS_{xx}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{yy}} & \frac{SS_{xy}SS_{zx} - SS_{yz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{yy}}\sqrt{SS_{zz}}SS_{xx}} & \frac{SS_{xx}SS_{yy} - SS_{xy}^2}{SS_{xx}SS_{yy}} \end{pmatrix} \\
&= \begin{pmatrix} r^{xx} & r^{xy} & r^{xz} \\ r^{yx} & r^{yy} & r^{yz} \\ r^{zx} & r^{yz} & r^{zz} \end{pmatrix}
\end{aligned}$$

$$r_{xy|z} = \frac{SS_{xy}SS_{zz} - SS_{xz}SS_{yz}}{\sqrt{SS_{xx}SS_{zz} - SS_{zx}^2} \sqrt{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}}$$

$$\begin{aligned}
&= \frac{-(SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz})}{\sqrt{SS_{xx}SS_{zz} - SS_{zx}^2} \sqrt{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}} \\
&= \frac{-(SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz})}{\sqrt{SS_{yy}} \sqrt{SS_{xx}SS_{zz}}} \cdot \frac{\sqrt{SS_{zz}SS_{xx}}}{\sqrt{SS_{xx}SS_{zz} - SS_{zx}^2}} \cdot \frac{\sqrt{SS_{yy}SS_{zz}}}{\sqrt{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}} \\
&= \frac{-(SS_{yz}SS_{zx} - SS_{xy}SS_{zz})}{\sqrt{SS_{yy}} \sqrt{SS_{xx}SS_{zz}}} \cdot \frac{SS_{zz}SS_{xx}}{\sqrt{SS_{xx}SS_{zz} - SS_{zx}^2}} \cdot \frac{SS_{yy}SS_{zz}}{\sqrt{SS_{yy}SS_{zz} - SS_{yz}^2}} \\
&= -r^{xy} \cdot \sqrt{\frac{1}{r^{yy}}} \sqrt{\frac{1}{r^{xx}}} \\
&= \frac{-r^{xy}}{\sqrt{r^{xx}} \sqrt{r^{yy}}}
\end{aligned}$$

式 74

4変数の場合は $p \geq 4$

単純に計算するだけならば、解は次の通りです。

$$r_{ij/rest} = r_{\tilde{x}_i \tilde{x}_j} = \frac{SS_{\tilde{x}_i \tilde{x}_j}}{\sqrt{SS_{\tilde{x}_i \tilde{x}_i}} \sqrt{SS_{\tilde{x}_j \tilde{x}_j}}}$$

$$\tilde{x}_1 = x_1 - \left(\frac{SS_{13}}{SS_{33}} x_3 + \dots + \frac{SS_{1p}}{SS_{pp}} x_p \right)$$

$$\tilde{x}_2 = x_2 - \left(\frac{SS_{23}}{SS_{33}} x_3 + \dots + \frac{SS_{2p}}{SS_{pp}} x_p \right)$$

$$SS_{\tilde{x}_1 \tilde{x}_2} = \sum_{k=1}^n \left(x_{1k} - \left(\sum_{l=3}^p \frac{SS_{1l}}{SS_{ll}} x_{lk} \right) \right) \left(x_{2k} - \left(\sum_{l=3}^p \frac{SS_{2l}}{SS_{ll}} x_{lk} \right) \right)$$

$$SS_{\tilde{x}_1 \tilde{x}_1} = \sum_{k=1}^n \left(x_{1k} - \left(\sum_{l=3}^p \frac{SS_{1l}}{SS_{ll}} x_{lk} \right) \right)^2$$

$$SS_{\tilde{x}_2 \tilde{x}_2} = \sum_{k=1}^n \left(x_{2k} - \left(\sum_{l=3}^p \frac{SS_{2l}}{SS_{ll}} x_{lk} \right) \right)^2$$

$$r_{x_1x_2|rest} = r_{\bar{x}_1\bar{x}_2} = \frac{SS_{\bar{x}_i\bar{x}_j}}{\sqrt{SS_{\bar{x}_i\bar{x}_i}}\sqrt{SS_{\bar{x}_j\bar{x}_j}}}$$

分散共分散行列の1行目と2行目に、符号を変えないで、偏相関分析の解析対象になる因子を持つてくることは可能です。やってみればわかりますが、行と列の両方を入れ替えなければならぬからです。

その結果、次のように偏相関係数を計算することが出来ます。

$$r_{x_ix_j|rest} = \frac{SS_{\bar{x}_i\bar{x}_j}}{\sqrt{SS_{\bar{x}_i\bar{x}_i}}\sqrt{SS_{\bar{x}_j\bar{x}_j}}}$$

これは確かに解の表し方の一つですが、計算の過程が複雑です。もう少し簡単な表現を探したくなります。一つのアイデアは、一つずつ、変数の影響を取り除いていくやり方です。たとえば、 x, y, z, w の4つの変数があるときに、 x と y の関係を、 z と w の影響を取り除いて表すことを考えます。まず、相関行列を作ります。

$$\mathbf{R}_{xyzw} = \begin{pmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{yx} & 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zx} & r_{zy} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{R}_{xyzw}^{-1} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{pmatrix} \begin{vmatrix} 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zy} & 1 & r_{zw} \\ r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{yx} & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} r_{yx} & 1 & r_{yw} \\ r_{zx} & r_{zy} & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{yx} & 1 & r_{yz} \\ r_{zx} & r_{zy} & 1 \\ r_{wx} & r_{wy} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{xy} & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{zy} & 1 & r_{zw} \\ r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xw} \\ r_{zx} & r_{zy} & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xz} \\ r_{zx} & r_{zy} & 1 \\ r_{wx} & r_{wy} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} r_{xy} & r_{xz} & r_{xw} \\ 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{yx} & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xw} \\ r_{yx} & 1 & r_{yw} \\ r_{wx} & r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xz} \\ r_{yx} & 1 & r_{yz} \\ r_{wx} & r_{wy} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{xy} & r_{xz} & r_{xw} \\ 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zy} & 1 & r_{zw} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{yx} & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xw} \\ r_{yx} & 1 & r_{yw} \\ r_{zx} & r_{zy} & r_{zw} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xz} \\ r_{yx} & 1 & r_{yz} \\ r_{zx} & r_{zy} & 1 \end{vmatrix} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r^{xx} & r^{xy} & r^{xz} & r^{xw} \\ r^{yx} & r^{yy} & r^{yz} & r^{yw} \\ r^{zx} & r^{zy} & r^{zz} & r^{zw} \\ r^{wx} & r^{wy} & r^{wz} & r^{ww} \end{pmatrix}$$

$$r^{xx} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{vmatrix} 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zy} & 1 & r_{zw} \\ r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} (1 + 2r_{yz}r_{zw}r_{wy} - r_{yz}^2 - r_{yw}^2 - r_{zw}^2)$$

$$r^{yy} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{vmatrix} 1 & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} = \frac{1}{|\mathbf{R}|} (1 + 2r_{xz}r_{zw}r_{wx} - r_{xz}^2 - r_{xw}^2 + r_{zw}^2)$$

$$r^{xy} = -\frac{1}{|\mathbf{R}|} \begin{vmatrix} r_{yx} & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{vmatrix} = -\frac{1}{|\mathbf{R}|} (r_{yx} + r_{yz}r_{zw}r_{wx} + r_{yw}r_{zx}r_{wz} - (r_{yx}r_{zw}^2 + r_{yz}r_{zx} + r_{yw}r_{wx}))$$

$$\therefore \frac{-r^{xy}}{\sqrt{r^{xx}}\sqrt{r^{yy}}} = \frac{r_{yx} + r_{yz}r_{zw}r_{wx} + r_{yw}r_{zx}r_{wz} - (r_{yx}r_{zw}^2 + r_{yz}r_{zx} + r_{yw}r_{wx})}{\sqrt{(1 + 2r_{yz}r_{zw}r_{wy} - r_{yz}^2 - r_{yw}^2 - r_{zw}^2)(1 + 2r_{xz}r_{zw}r_{wx} - r_{xz}^2 - r_{xw}^2 + r_{zw}^2)}} \quad (i)$$

wの影響を取り除きます。 $r_{xy|w}$ を計算するということです。

$$\mathbf{R}_{xyw} = \begin{pmatrix} 1 & r_{xy} & r_{xw} \\ r_{yx} & 1 & r_{yw} \\ r_{wx} & r_{wy} & 1 \end{pmatrix}$$

(この行列式が $|\mathbf{R}_{xyw}| = r^{zz}$

であることは定義から明らかですが、これを確認してください)

$$\mathbf{R}_{xyw}^{-1} = \frac{1}{|\mathbf{R}_{xyw}|} \begin{pmatrix} \begin{vmatrix} 1 & r_{yw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{yx} & r_{yw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} r_{yx} & 1 \\ r_{wx} & r_{wy} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{xy} & r_{xw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xy} \\ r_{wx} & r_{wy} \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} r_{xy} & r_{xw} \\ 1 & r_{yw} \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{yx} & r_{yw} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xy} \\ r_{yx} & 1 \end{vmatrix} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r_{xy|w}^{xx} & r_{xy|w}^{xy} & r_{xy|w}^{xw} \\ r_{xy|w}^{yx} & r_{xy|w}^{yy} & r_{xy|w}^{yw} \\ r_{xy|w}^{wx} & r_{xy|w}^{wy} & r_{xy|w}^{ww} \end{pmatrix}$$

$$r_{xy|w} = \frac{-r_{xy|w}^{xy}}{\sqrt{r_{xy|w}^{xx}}\sqrt{r_{xy|w}^{yy}}} = \frac{\begin{vmatrix} r_{yx} & r_{yw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix}}{\sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{yw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix}}\sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix}}}$$

$$= \frac{r_{yx} - r_{yw}r_{wx}}{\sqrt{(1 - r_{yw}^2)(1 - r_{wx}^2)}}$$

$$r_{xy|w} = \frac{r_{yx} - r_{yw}r_{wx}}{\sqrt{(1 - r_{yw}^2)(1 - r_{wx}^2)}} \quad (ii)$$

次に偏相関係数 $r_{xz/w}$ について考えます。

$$\mathbf{R}_{xzw} = \begin{pmatrix} 1 & r_{xz} & r_{xw} \\ r_{zx} & 1 & r_{zw} \\ r_{wx} & r_{wz} & 1 \end{pmatrix}$$

($|\mathbf{R}_{xzw}| = r^{yy}$ であることを覚えておいてください)

$$\mathbf{R}_{xzw}^{-1} = \frac{1}{|\mathbf{R}_{xzw}|} \begin{pmatrix} \begin{vmatrix} 1 & r_{zw} \\ r_{zw} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{zx} & r_{zw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} r_{zx} & 1 \\ r_{wx} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{xz} & r_{xw} \\ r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xz} \\ r_{wx} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} r_{xz} & r_{xw} \\ 1 & r_{zw} \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{zx} & r_{zw} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xz} \\ r_{zx} & 1 \end{vmatrix} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r_{xz|w}^{xx} & r_{xz|w}^{xz} & r_{xz|w}^{xw} \\ r_{xz|w}^{zx} & r_{xz|w}^{zz} & r_{xz|w}^{zw} \\ r_{xz|w}^{wx} & r_{xz|w}^{wz} & r_{xz|w}^{ww} \end{pmatrix}$$

$$r_{xz|w} = \frac{-r_{xz|w}^{xz}}{\sqrt{r_{xz|w}^{xx}} \sqrt{r_{xz|w}^{zz}}} = \frac{\begin{vmatrix} r_{zx} & r_{zw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix}}{\sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{zw} \\ r_{wz} & 1 \end{vmatrix}} \sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{xw} \\ r_{wx} & 1 \end{vmatrix}}}$$

$$= \frac{r_{zx} - r_{zw}r_{wx}}{\sqrt{(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{wx}^2)}}$$

$$r_{xz|w} = \frac{r_{zx} - r_{zw}r_{wx}}{\sqrt{(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{wx}^2)}} \quad (iii)$$

次に $r_{yz|w}$ について考えます。

$$\mathbf{R}_{yzw} = \begin{pmatrix} 1 & r_{yz} & r_{yw} \\ r_{zy} & 1 & r_{zw} \\ r_{wy} & r_{wz} & 1 \end{pmatrix}$$

(Pay attention, $|\mathbf{R}_{yzw}| = r^{yy}$)

$$\mathbf{R}_{yzw}^{-1} = \frac{1}{|\mathbf{R}_{yzw}|} \begin{pmatrix} \begin{vmatrix} 1 & r_{zw} \\ r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{zy} & r_{zw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} r_{zy} & 1 \\ r_{wy} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{yz} & r_{yw} \\ r_{wz} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{yw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{yz} \\ r_{wy} & r_{wz} \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} r_{yz} & r_{yw} \\ 1 & r_{zw} \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{yw} \\ r_{zy} & r_{zw} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{yz} \\ r_{zy} & 1 \end{vmatrix} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r_{yz|w}^{yy} & r_{yz|w}^{yz} & r_{yz|w}^{yw} \\ r_{yz|w}^{zy} & r_{yz|w}^{zz} & r_{yz|w}^{zw} \\ r_{yz|w}^{wy} & r_{yz|w}^{wz} & r_{yz|w}^{ww} \end{pmatrix}$$

$$r_{yz|w} = \frac{-r_{yz|w}^{yz}}{\sqrt{r_{yz|w}^{yy}} \sqrt{r_{yz|w}^{zz}}} = \frac{\begin{vmatrix} r_{zy} & r_{zw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix}}{\sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{zw} \\ r_{wz} & 1 \end{vmatrix}} \sqrt{\begin{vmatrix} 1 & r_{yw} \\ r_{wy} & 1 \end{vmatrix}}}$$

$$r_{yz|w} = \frac{r_{zy} - r_{zw}r_{wy}}{\sqrt{(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)}} \quad (iv)$$

ここから、3 x 3 の $r_{xy/w}$, $r_{xz/w}$ and $r_{yz/w}$ 相関行列を作ります

$$\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}} = \begin{pmatrix} 1 & r_{xy/w} & r_{xz/w} \\ r_{xy/w} & 1 & r_{yz/w} \\ r_{xz/w} & r_{yz/w} & 1 \end{pmatrix}$$

$$\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}^{-1} = \frac{1}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} \begin{pmatrix} \begin{vmatrix} 1 & r_{yz/w} \\ r_{yz/w} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} r_{xy/w} & r_{yz/w} \\ r_{xz/w} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} r_{xy/w} & 1 \\ r_{xz/w} & r_{yz/w} \end{vmatrix} \\ -\begin{vmatrix} r_{xy/w} & r_{xz/w} \\ r_{yz/w} & 1 \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xz/w} \\ r_{xz/w} & 1 \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xy/w} \\ r_{xz/w} & r_{yz/w} \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} r_{xy/w} & r_{xz/w} \\ 1 & r_{yz/w} \end{vmatrix} & -\begin{vmatrix} 1 & r_{xz/w} \\ r_{xy/w} & r_{yz/w} \end{vmatrix} & \begin{vmatrix} 1 & r_{xy/w} \\ r_{xy/w} & 1 \end{vmatrix} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r_{xyz/w}^{xx} & r_{xyz/w}^{xy} & r_{xyz/w}^{xz} \\ r_{xyz/w}^{yx} & r_{xyz/w}^{yy} & r_{xyz/w}^{yz} \\ r_{xyz/w}^{zx} & r_{xyz/w}^{zy} & r_{xyz/w}^{zz} \end{pmatrix}$$

$$r_{xy|zw} = r_{\tilde{x}\tilde{y}} = \frac{-r_{xyz/w}^{xy}}{\sqrt{r_{xyz/w}^{xx}} \sqrt{r_{xyz/w}^{yy}}} \quad (v)$$

$r_{xyz/w}^{xx}$ について

$$r_{xyz/w}^{xx} = \frac{\begin{vmatrix} 1 & r_{yz/w} \\ r_{yz/w} & 1 \end{vmatrix}}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} = \frac{1 - r_{yz/w}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|}$$

$$= \frac{1}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} \left(1 - \frac{(r_{zy} - r_{zw}r_{wy})^2}{(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)} \right)$$

$$= \frac{1 - r_{zw}^2 - r_{yw}^2 + r_{zw}^2 r_{yw}^2 - r_{zy}^2 + 2r_{zy}r_{zw}r_{wy} - r_{zw}^2 r_{yw}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}| (1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)}$$

$$= \frac{1 + 2r_{zy}r_{zw}r_{wy} - r_{zw}^2 - r_{yw}^2 - r_{zy}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}| (1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)}$$

$$r_{xyz/w}^{xx} = \frac{1 + 2r_{zy}r_{zw}r_{wy} - r_{zw}^2 - r_{yw}^2 - r_{zy}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}| (1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)} \quad (vi)$$

$r_{xyz/w}^{yy}$ について、

$$r_{xyz/w}^{yy} = \frac{\begin{vmatrix} 1 & r_{xz/w} \\ r_{xz/w} & 1 \end{vmatrix}}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|}$$

$$= \frac{\begin{vmatrix} 1 & r_{xz/w} \\ r_{xz/w} & 1 \end{vmatrix}}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} = \frac{1 - r_{xz/w}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|}$$

$$= \frac{1}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} \left(1 - \frac{(r_{zx} - r_{zw}r_{wx})^2}{(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{wx}^2)} \right)$$

$$\begin{aligned}
&= \frac{(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2) - (r_{zx} - r_{zw}r_{wx})^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2)} \\
&= \frac{1-r_{zw}^2-r_{wx}^2+r_{zw}^2r_{wx}^2 - (r_{zx}^2 - 2r_{zx}r_{zw}r_{wx} + r_{zw}^2r_{wx}^2)^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2)} \\
&= \frac{1+2r_{zx}r_{zw} - r_{zw}^2 - r_{wx}^2 - r_{zx}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2)} \\
r_{xyz|w}^{yy} &= \frac{1+2r_{zx}r_{zw} - r_{zw}^2 - r_{wx}^2 - r_{zx}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2)} \quad (vii)
\end{aligned}$$

$r_{xyz|w}^{xy}$ について

$$\begin{aligned}
r_{xyz|w}^{xy} &= \frac{-\begin{vmatrix} r_{xy|w} & r_{yz|w} \\ r_{xz|w} & 1 \end{vmatrix}}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} = \frac{-(r_{xy|w} - r_{yz|w}r_{xz|w})}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} \\
&= \frac{-\left(\frac{r_{yx} - r_{yw}r_{wx}}{\sqrt{(1-r_{yw}^2)(1-r_{wx}^2)}} - \frac{r_{zy} - r_{zw}r_{wy}}{\sqrt{(1-r_{zw}^2)(1-r_{yw}^2)}} \frac{r_{zx} - r_{zw}r_{wx}}{\sqrt{(1-r_{zw}^2)(1-r_{wx}^2)}} \right)}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|} \\
&= \frac{-\left((r_{yx} - r_{yw}r_{wx})(1-r_{zw}^2) - (r_{zy} - r_{zw}r_{wy})(r_{zx} - r_{zw}r_{wx}) \right)}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)\sqrt{(1-r_{yw}^2)(1-r_{wx}^2)}} \\
&= \frac{-\left(r_{yx} - r_{yw}r_{wx} - r_{zw}^2 + r_{yw}r_{wx}r_{zw}^2 - (r_{zy}r_{zx} - r_{zw}r_{wy}r_{zx} - r_{zy}r_{zw}r_{wx} + r_{yw}r_{wx}r_{zw}^2) \right)}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)\sqrt{(1-r_{yw}^2)(1-r_{wx}^2)}} \\
&= \frac{-\left(r_{yx} + r_{zw}r_{wy}r_{zx} + r_{zy}r_{zw}r_{wx} - r_{yw}r_{wx} - r_{zw}^2 - r_{zy}r_{zx} \right)}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)\sqrt{(1-r_{yw}^2)(1-r_{wx}^2)}} \\
r_{xyz|w}^{xy} &= \frac{-\left(r_{yx} + r_{zw}r_{wy}r_{zx} + r_{zy}r_{zw}r_{wx} - r_{yw}r_{wx} - r_{zw}^2 - r_{zy}r_{zx} \right)}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1-r_{zw}^2)\sqrt{(1-r_{yw}^2)(1-r_{wx}^2)}} \quad (viii)
\end{aligned}$$

すべてを整理して並べると

$$\begin{aligned}
(i) \quad \frac{-r^{xy}}{\sqrt{r^{xx}}\sqrt{r^{yy}}} &= \frac{r_{yx} + r_{yz}r_{zw}r_{wx} + r_{yw}r_{zx}r_{wz} - (r_{yx}r_{zw}^2 + r_{yz}r_{zx} + r_{yw}r_{wx})}{\sqrt{(1+2r_{yz}r_{zw}r_{wy} - r_{yz}^2 - r_{yw}^2 - r_{zw})(1+2r_{xz}r_{zw}r_{wx} - r_{xz}^2 - r_{xw}^2 + r_{zw}^2)}} \\
(v) \quad r_{xy|zw} &= r_{\tilde{x}\tilde{y}} = \frac{-r_{xyz|w}^{xy}}{\sqrt{r_{xyz|w}^{xx}}\sqrt{r_{xyz|w}^{yy}}}
\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
(vi) \quad r_{xyz|w}^{xx} &= \frac{1 + 2r_{zy}r_{zw}r_{wy} - r_{zw}^2 - r_{yw}^2 - r_{zy}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{yw}^2)} \\
(vii) \quad r_{xyz|w}^{yy} &= \frac{1 + 2r_{zx}r_{zw} - r_{zw}^2 - r_{wx}^2 - r_{zx}^2}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1 - r_{zw}^2)(1 - r_{wx}^2)} \\
(viii) \quad r_{xyz|w}^{xy} &= \frac{-(r_{yx} + r_{zw}r_{wy}r_{zx} + r_{zy}r_{zw}r_{wx} - r_{yw}r_{wx} - r_{zw}^2 - r_{zy}r_{zx})}{|\mathbf{R}_{\tilde{x}\tilde{y}\tilde{z}}|(1 - r_{zw}^2)\sqrt{(1 - r_{yw}^2)(1 - r_{wx}^2)}}
\end{aligned}$$

(vi), (vii) と (viii) を (v) に入れます。

$$r_{xy|zw} = \frac{-r_{xyz|w}^{xy}}{\sqrt{r_{xyz|w}^{xx}}\sqrt{r_{xyz|w}^{yy}}} = \frac{r_{yx} + r_{zw}r_{wy}r_{zx} + r_{zy}r_{zw}r_{wx} - r_{yw}r_{wx} - r_{zw}^2 - r_{zy}r_{zx}}{\sqrt{1 + 2r_{zy}r_{zw}r_{wy} - r_{zw}^2 - r_{yw}^2 - r_{zy}^2}\sqrt{1 + 2r_{zx}r_{zw} - r_{zw}^2 - r_{wx}^2 - r_{zx}^2}} \quad (ix)$$

(i) を (ix) に入れます。

$$r_{xy|zw} = \frac{-r^{xy}}{\sqrt{r^{xx}}\sqrt{r^{yy}}}$$

結論として

$$r_{x_1x_2/x_3x_4} = r_{x_1x_2/rest} = \frac{-r^{x_1x_2}}{\sqrt{r^{x_1x_1}}\sqrt{r^{x_2x_2}}}$$

となります。変数の数が p の時、 p 番目の変数の影響を取り除いた残りの $(p-1)$ 個の変数の偏相関係数を使って、 $(p-1)$ の大きさの正方行列が作れます。この正方行列を使って、そこから $(p-1)$ 番目の変数の影響を取り除くということを繰り返せば、次のような偏相関係数が出るはずです。

$$r_{x_1x_2/x_3 \dots x_p} = r_{x_1x_2/rest} = \frac{-r^{x_1x_2}}{\sqrt{r^{x_1x_1}}\sqrt{r^{x_2x_2}}}$$

しかし、そのためには目的に 2 変数が一番目と 2 番目の行、列にある必要があります。そのために、行列を入れ替えると、図 67 に示したように、そのたびに符号が入れ替わります。

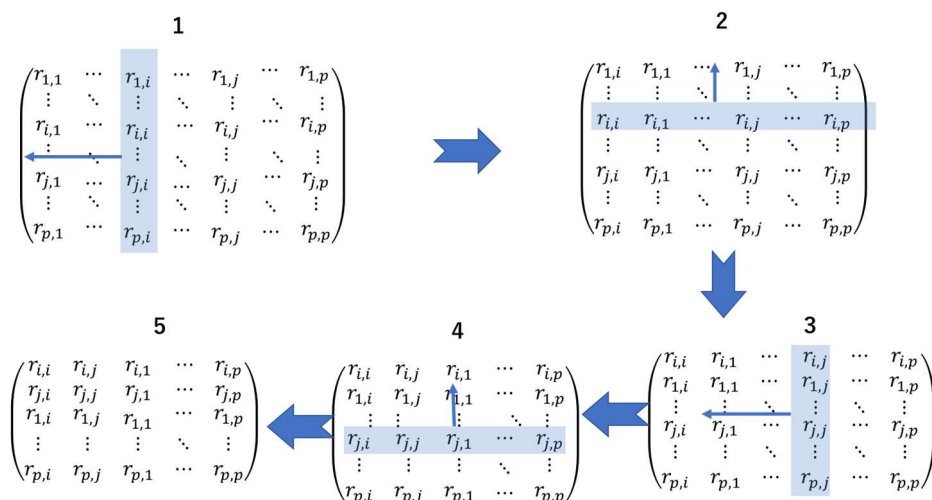


図 67. 行と列の入れ替え.

しかし、この場合は符号を考える必要はありません。次のようになっています、符号の変換回数が偶数だからです。

$$\text{sing}(R) = (-1)^{2(i-1)}(-1)^{2(j-1)}$$

$$\begin{pmatrix} r_{1,1} & \cdots & r_{1,i} & \cdots & r_{1,j} & \cdots & r_{1,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{i,1} & \cdots & r_{i,i} & \cdots & r_{i,j} & \cdots & r_{i,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{j,1} & \cdots & r_{j,i} & \cdots & r_{j,j} & \cdots & r_{j,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{p,1} & \cdots & r_{p,i} & \cdots & r_{p,j} & \cdots & r_{p,p} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} r_{i,i} & r_{i,j} & r_{i,1} & \cdots & r_{i,i-1} & r_{i,i+1} & \cdots & r_{i,j-1} & r_{i,j+1} & \cdots & r_{i,p} \\ r_{j,i} & r_{j,j} & r_{j,1} & \cdots & r_{j,i-1} & r_{j,i+1} & \cdots & r_{j,j-1} & r_{j,j+1} & \cdots & r_{j,p} \\ r_{1,i} & r_{1,j} & r_{1,1} & \cdots & r_{1,i-1} & r_{1,i+1} & \cdots & r_{1,j-1} & r_{1,j+1} & \cdots & r_{1,p} \\ \vdots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{i-1,i} & r_{i-1,j} & r_{i-1,1} & \cdots & r_{i-1,i-1} & r_{i-1,i+1} & \cdots & r_{i-1,j-1} & r_{i-1,j+1} & \cdots & r_{i-1,p} \\ r_{i+1,i} & r_{i+1,j} & r_{i+1,1} & \cdots & r_{i+1,i-1} & r_{i+1,i+1} & \cdots & r_{i+1,j-1} & r_{i+1,j+1} & \cdots & r_{i+1,p} \\ \vdots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{j-1,i} & r_{j-1,j} & r_{j-1,1} & \cdots & r_{j-1,i-1} & r_{j-1,i+1} & \cdots & r_{j-1,j-1} & r_{j-1,j+1} & \cdots & r_{j-1,p} \\ r_{j+1,i} & r_{j+1,j} & r_{j+1,1} & \cdots & r_{j+1,i-1} & r_{j+1,i+1} & \cdots & r_{j+1,j-1} & r_{j+1,j+1} & \cdots & r_{j+1,p} \\ \vdots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r_{p,i} & r_{p,j} & r_{p,1} & \cdots & r_{p,i-1} & r_{p,i+1} & \cdots & r_{p,j-1} & r_{p,j+1} & \cdots & r_{p,p} \end{pmatrix}$$

ということは、次のように目的とする変数の r^{ij} 、 r^{ii} 、 r^{jj} がどこにあるかを逆行列から探し出せばよいだけです。

$$\begin{pmatrix} r^{1,1} & \cdots & r^{1,i} & \cdots & r^{1,j} & \cdots & r^{1,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r^{i,1} & \cdots & r^{i,i} & \cdots & r^{i,j} & \cdots & r^{i,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r^{j,1} & \cdots & r^{j,i} & \cdots & r^{j,j} & \cdots & r^{j,p} \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ r^{p,1} & \cdots & r^{p,i} & \cdots & r^{p,j} & \cdots & r^{p,p} \end{pmatrix}$$

結論的に、以下の簡単な式になります。

$$r_{ij/rest} = \frac{-r^{ij}}{\sqrt{r^{ii}}\sqrt{r^{jj}}}$$